



# 図書館だより



2024年8月号  
伊江小学校図書館

## 2学期の貸出スタート☆ 8月の図書館目標：読書感想文・感想画の本を読もう

**課題図書・指定図書**☆ 今年度の課題図書・指定図書も、図書館カウンター近くに置いてあります。是非手に取ってもらい、読書感想文・読書感想画に取り組んでほしいと思います。【**低学年・中学年・高学年それぞれ、課題図書4冊、指定図書6冊の合計10冊**】を貸出中です！そして、今年も、【**課題図書・指定図書ビンゴ**】を作成しています。一列でもビンゴになったら、図書館に持ってきてください。読書（図書館）ファイルにつづって図書館に置いてもOKです。意欲的に課題図書（読書感想文）と指定図書（読書感想画）の本に触れてくださいね♪



**低学年（課題）：**○アザラシのアニュー ○ごめんねでてこい ○おちびさんじゃないよ  
○どうやってできるの？チョコレート

**低学年（指定）：**○おはなしごほん ○アマガエルのうた ○うみのおと ○かずさんの手 ○さかさまがっこう  
○いえ あるひ せんそうが はじまった

**中学年（課題）：**○いつかの約束 1945 ○じゅげむの夏 ○さよならプラスチック・ストロー  
○聞いて聞いて！音と耳のはなし

**中学年（指定）：**○わたしのあくびみなかった？ ○時間をやくパン屋さん ○猫丸神社のひみつ  
○あたしデイズ ○先生、感想文、書けません！ ○ちいさなしまのだいもんだい

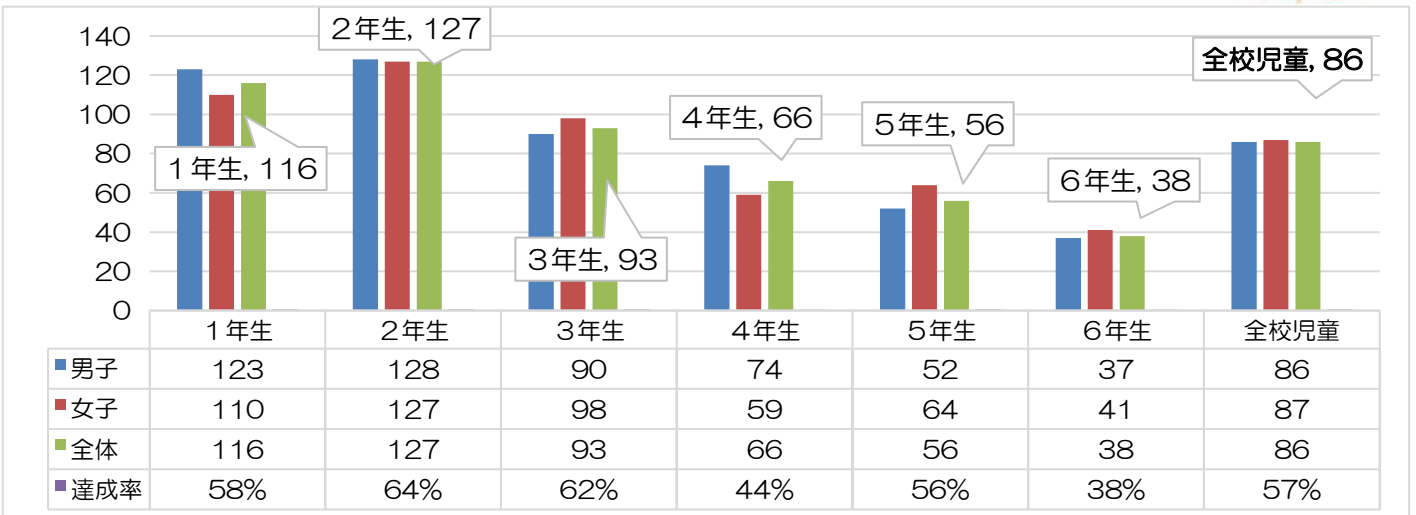
**高学年（課題）：**○ぼくはうそをついた ○ドアのむこうの国のパスポート ○図書館がくれた宝物  
○海よ光れ！3.11 被災者を励ました学校新聞

**高学年（指定）：**○ぼくはおじいちゃんと戦争した ○黄色い竜 ○暗やみに能面ひっそり  
○パフィン島の灯台守 ○そのころ地球では… ○ニワシドリのひみつをもとめて


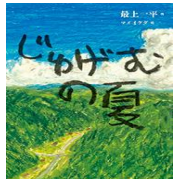
















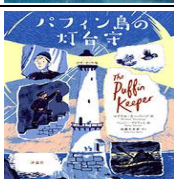

## 平均読書冊数☆学年別統計グラフ

※4月～夏休み期間中の貸出冊数です。



☆低学年・課題図書（読書感想文）4冊☆ 本の題名・書いた人・あらすじ	本の表紙
<p>『アザラシのアニュー』 あずみ虫／作 童心社</p> <p>海にうかぶ氷の上で、アザラシのあちゃんがうまれました。野生動物の子どもが懸命に成長する姿を、アラスカで滞在制作する作者が描いた、大ぼうけんの物語です！最後のページには、アザラシの生態を解説した図鑑ページも収録されていますよ。</p>	
<p>『ごめんねでてこい』 ささきみお／作・絵 文研出版</p> <p>「ごめんね」という言葉の重みや大切さを考えさせてくれる1冊です。その人のことをしっかり思って、心からの言葉を伝えること。今ある日常を大切にすること。思いやりや家族との関わりをえがいたお話です。</p>	
<p>『おちびさんじゃないよ』 マヤ・マイヤーズ／文 ヘウォン・ユン／絵 まえざわあきえ／訳</p> <p>テンちゃんは小さな女の子。でも見た目で判断しないで、って思っています。ある日、いじめっ子が小さなマルくんにいじわるをして、テンちゃんはいじめっこに立ち向かいます。そして「わたしはちびじゃないっ！」と大きな声で勇気を出します。イマジネーション・プラス</p>	
<p>『どうやってできるの？チョコレート』 田村孝介ほか／写真 出版社：ひさかたチャイルド</p> <p>ふだん何気なく口にかけている、チョコレート。（なっきー先生もだいすきです♡）どうやって作られるの？カカオの味の大きさは？カカオはどのように日本にくるの？身近な食べものができるまでの不思議と、その過程で関わる人たちの働き方を知ろう！</p>	
☆低学年・指定図書（読書感想画）6冊☆ 本の題名・書いた人・あらすじ	本の表紙
<p>『おなはしごほん』 大川久乃／作 本田亮／絵 出版社：あかね書房</p> <p>かぜで学校を休んだとしくん。たいくつしていると部屋のすみから、ゴホン！絵本がせきをしています。としくんが読んでくれないので、かぜをひいたのです。前の自分と今の自分のちがいに気がついていく男の子と絵本の物語♪</p>	
<p>『アマガエルのうた』 谷口智則／作 出版社：アリス館</p> <p>アマガエルが歌うと雨がふる。どこかにこの歌が必要なひとはいるのかな？そうしてアマガエルは旅にでた。自分探しの旅はどこへ？川をくだって、海に着くと、そこで会ったのは……。子どもから大人まで楽しめる絵本です。</p>	
<p>『うみのおと』 たちもとみちこ／作・絵 出版社：教育画劇</p> <p>波とおいかけっこしたり、うきわでプカプカしたり、すいか割りをしたり、貝がらをひろったり！はじめての海に、こぶたちゃんの胸は高鳴ります。ざざー ささー ぱしゃー くぶくぶ。夏が広がる素敵なしかけ絵本です。※ほかシリーズあり</p>	
<p>『かずさんの手』 佐和みずえ／作 かわいちひろ／絵 出版社：小峰書店</p> <p>96歳のかずさんはみかのひいおばあちゃん。いつも手遊びをして遊んでくれます。かずさんが話してくれたのは、1945年の8月9日の原爆が落とされた日のこと。長崎の病院での出来事でした。実際に看護師として働いていた方の体験を元に書かれた物語です。</p>	
<p>『いえ』 カテリナ・テイホゾーラ／作 オクレサンドル・ブローダン／絵 すぎもとえみ／訳</p> <p>あるひ、戦争がはじまった。2022年2月、ロシアがウクライナ侵攻を開始。2年以上戦いは続き、多くの人が家族や平和な生活を失いました。今も人々の苦しみは終わりません。ウクライナから届いた絵本が、戦争のいまを伝えます。汐文社</p>	
<p>『さかさまがっこう』 荻田澄子／作 つちだのぶこ／絵 出版社：文溪堂</p> <p>先生におこられたくなくて、さかさまのおまいじないをつなえてみた。すると——忘れ物しても、テストの点数がわるくても授業中におしゃべりしてもほめられてしまった！反対に、かけっこで1位になったらガッカリされちゃった!! いったいどっちがいいんだろう…!?</p>	

☆中学年・課題図書（読書感想文）4冊☆ 本の題名・書いた人・あらすじ	本の表紙
<p>『いつかの約束 1945』 山本悦子／作 平澤朋子／絵 出版社：岩崎書店</p> <p>すずは、いろいろな場所で同じ時代を生きている人とは思えない不思議なことばかり口にし ます。時を超えた出会いと友情、すずが経験した戦争の記憶、そして未来への希望が、今を 生きる、わたしたちに伝わる物語です。</p>	
<p>『じゅげむの夏』 最上一平／作 マメイケダ／絵 出版社：佼成出版社</p> <p>山ちゃん、シューちゃん、かっちゃん、ぼくは仲良し4人組。4年生の夏休みにやりたいこと を宣言した、難病の親友・かっちゃんの願いを叶えるため、ぼくらはこっそり計画を練った ……。少年たちの冒険が、今はじまる！</p>	
<p>『さよならプラスチック・ストロー』 ディー・ロミート／文 スユエ・チェン／絵</p> <p>約5千年前に発明されたストローは、なぜ今、問題になっているのだろう？ ストローの 発明と改良の歴史、プラスチックごみが環境や海の生き物に与える影響、解決策など、 SDGs を考え行動するためのノンフィクション。 千葉茂樹／訳 出版社：光村教育図書</p>	
<p>『聞いて聞いて！音と耳のはなし』 高津修、遠藤義人／文 長崎訓子／絵 福音館書店</p> <p>音は震える空気の波。大きな音は大きくうねり、高い音は細かく震える。身のまわりの音が いきいきと立体的に聞こえるのは、2つの耳に届く音が少しズレてるせいなんだって！ 音のヒ ミツと耳のしくみがわかるかがく絵本。</p>	
☆中学年・指定図書（読書感想画）6冊☆ 本の題名・書いた人・あらすじ	本の表紙
<p>『わたしのあくびがなかった？』 ピョン・ユジョン／作 三辺律子／訳 出版社：絵本塾出版</p> <p>どうしても眠ることができないミリーは、ひとつだけやっていないことに気がつきま す。それは大きなあくびをすること。そこでミリーは、ぬいぐるみのミロと一緒に、 あくびを探しに出かけます。世界中を旅する冒険ファンタジーです。</p>	
<p>『時間をやくパン屋さん』 キム・ジュヒョン／作 スクラッコ／絵 吉原育子／訳 出版：金の星社</p> <p>パン屋のおじさんは、一人一人の注文をうけ、その人の特別に記憶しておきたい時間をパン に焼くのだという。毎日を過ごす中で、だれもが経験したことのある失敗と後悔をくりかえ しながら、問題に合い、乗り越えていく主人公ピーター。心が成長する物語です。</p>	
<p>『ぼくのきもちはね』 西村友里／作 ゆーちみえこ／絵 出版社：国土社</p> <p>幹人の家は小さな神社だ。祭りもないし、おみくじやお守りも売っていない。総合 学習で調べ始めると、神社の歴史が消され、資料もなにも残されていないが、幹人た ちは、とんでもないものを見つけ出した！神社のひみつ、うわさの正体とは?!</p>	
<p>『あたしデイズ』 いたうみく／作 平澤朋子／絵 出版社：新日本出版社</p> <p>移動教室が楽しくなるかならないかは、だれと同じ班になるかにかかっている。「まだ 班が決まっていない人は手をあげて」先生の声に、小さく手をあげた。本当の友だち ってなんだろう——子どもたちに送る励ましのメッセージがつまった一冊です。</p>	
<p>『先生、感想文、書けません！』 山本悦子／作 佐藤真紀子／絵 出版社：童心社</p> <p>八月一日、夏休みの登校日。感想文を書こうと言葉を探した途端、おもしろかった 気持ちもきえてしまう。「感想文、むり！」でも、書かないわけにはいかない読書 感想文。主人公のみずかが考えた作戦とは?※『先生、しゅくだい、わすれました！』関連本</p>	
<p>『ちいさなしまのだいもんだい』 スムリティ・プラサーダム・ホールズ／文 光村教育図書</p> <p>あるところに、動物たちが助け合って暮らす村がありました。もめごともなく、みん なはだいたい満足でした。ところがある日、池に浮かぶ島にすむがちょうが、橋をこ わしてしまいました。身内だけで固まり、外と交流しない暮らしは、楽しく快適？</p>	

☆高学年・課題図書（読書感想文）4冊☆ 本の題名・書いた人・あらすじ	本の表紙
<p>『<b>ぼくはうそをついた</b>』 西村すぐり／作 中島花野／絵 出版社：ポプラ社</p> <p>あの人を救いたくて、原爆で亡くなった息子のフリをした——小学5年生のリョウタが自分の住むヒロシマの街を歩きながら、今も消えない原爆の傷と人々の想いについて考えます。平和への祈りをこめた物語。</p>	
<p>『<b>ドアのむこうの国へのパスポート</b>』 トンケ・ドラフト／リンデルト・クロムハウト／作</p> <p>ふしぎなドアのむこうへ行くには？ラウレンゾンとクラスの間は、作家から届くのかなぞときにいどみ、ふうがわりなパスポート申請やビザ作りにとりくみます。なぞときに挑戦！心のかぎを開ける物語です。</p> <p>リンデ・ファース／絵 出版社：岩波書店</p>	
<p>『<b>図書館がくれた宝物</b>』 ケイト・アルバス／作 榎田理絵／訳 出版社：徳間書店</p> <p>両親のいないきょうだいの疎開先での心のよりどころは村の図書館。そんな3人はひそかに「本当の親」になってくれる人をさがして…。きょうだいの助け合いが印象的な、第二次世界大戦下の心あたたまる物語です。</p>	
<p>『<b>海よ光れ！3.11 被災者を励ました学校新聞</b>』 田沢五月／作 出版社：国土社</p> <p>東日本大震災の避難所となった小学校で、被災者といっしょに寝泊まりしていた子どもたち。何を感じ、自分たちに何ができるのかを考え取り組んだこととは…？子どもたちの思いをつぶさに伝える感動ノンフィクションです。</p>	
☆高学年・指定図書（読書感想画）6冊☆ 本の題名・書いた人・あらすじ	本の表紙
<p>『<b>ぼくはおじいちゃんと戦争した</b>』 ロバート・K・スミス／作 こだまともこ／訳 あすなる書房</p> <p>大好きな「おじいちゃん」と一緒に住むことになったピーター。自分の部屋をゆずりたくなくて猛反対し、大激突！しかし、本当の貧しさや戦争を体験しているおじいちゃんの人生を知ることになり、気持ちに変化が…。楽しく読めて、ホロッとする味わい深い家族の物語です。</p>	
<p>『<b>黄色い竜</b>』 村上康成／作・絵 出版社：徳間書店</p> <p>クリオは、自然豊かな町にくらす十歳の少年。魚釣り、ホタルの飛び夜、田んぼのそばでのキャッチボール、あまいクワのみ…自然の中ですごす少年のひと夏をまるごと描きだす、自然派絵本作家村上康成による、みずみずしい物語です。カラーさし絵入り。</p>	
<p>『<b>暗やみに能面ひっそり</b>』 佐藤まどか／作 アマンマサコ／絵 出版社：BL出版</p> <p>宗太は夏休みに京都の能面師のおじいちゃんの所で過ごすことになりました。宗太は能面の打ち方を教わり、能や能面の世界を知っていくうちに、両親へ抱いていた複雑な思いを変化させていきます。日本の伝統文化の職人の世界をわかりやすく描いた物語です。</p>	
<p>『<b>パフィン島の灯台守</b>』 マイケル・モーパーゴ／作 ベンジー・デイヴィス／絵 佐藤見果夢／訳</p> <p>イギリスのシリー諸島周辺は航海の難所。ある嵐の夜、灯台守のベンがアランという少年の命を守った。二人は再会し、傷ついた1羽の鳥を一緒に世話するうちに、パフィン島はアランの心のふるさとになっていく。時が流れても変わらない、人と人の繋がりを描く物語</p>	
<p>『<b>そのころ地球では…</b>』 オリヴァー・ジェファーズ／作 tupera tupera／訳 ほるぷ出版</p> <p>スーパー宇宙カーに乗った親子が宇宙を旅しながら、はるか昔からくりかえされてきた地球の人間同士争いの歴史を振り返ります。『地球はたったひとつのかけがえのないもの』という著者の想いが自然に伝わる、今こそ読みたいメッセージ絵本です。</p>	
<p>『<b>ニワシドリのひみつをもとめて</b>』 鈴木まもる／作 出版社：理論社</p> <p>「なんで？」子どものころに抱えた謎に迫るべく、著者は「ニワシドリのアズマヤ」をさがす旅に出かけます。オーストラリア・ニューギニア・イリアンジャヤなどの自然あふれる土地で取材を進め、考察は深まっていく、大冒険ノンフィクションです。</p>	